

インターネットやスマートフォンに潜む危険から子どもたちを守る

インターネットやスマートフォンは、いつでもどこでも手軽に情報を入手または発信できるなど、私たちの生活を便利にしてくれています。

しかし一方で、子どもたちが事件・トラブルに巻き込まれたり、いじめなどの人権に係る問題が発生したりする一面もあります。また、長時間の使用によって、子どもたちの体や心にさまざまな影響を及ぼすことも分かってきました。

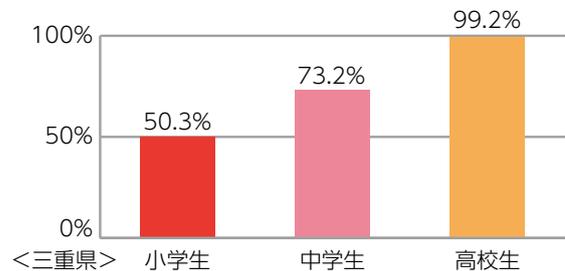
今回は、インターネットやスマートフォンの利用状況、起こりうるリスク、対策などを紹介します。

問合せ先 教育委員会生涯学習室 (☎84-5057)

◆年々増加しつつある所持率

自分のスマートフォンなどを持つ子どもの割合は年々増加しており、小学生でも約2人に1人が所持しています。

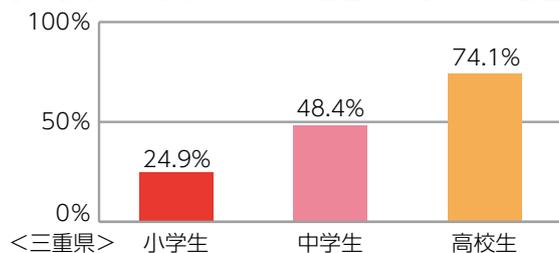
【スマートフォンなどの所持率】



◆スマートフォンなどの使用時間が増加傾向

スマートフォンなどを1日に2時間以上使用している子どもの割合が、前回調査時(平成26年度)から全校種で増加しています。

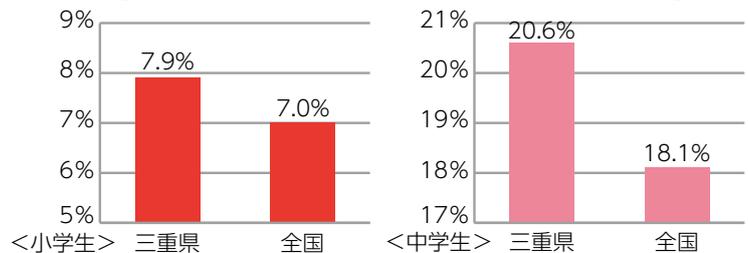
【2時間以上使用していると回答した子どもの割合】



◆長時間使用の子どもが全国平均より高い

平日にインターネットやスマートフォンなどを3時間以上使用している子どもの割合が、全国平均より高くなっています。

【3時間以上使用していると回答した子どもの割合】



出典：平成29年度「スマートフォン等の使用に関する実態調査結果」(三重県)
平成29年度「全国学力・学習状況調査結果分析報告書」(三重県)

インターネットやスマートフォンなどを使用することで、子どもに起こりうるリスクとは？ ※トラブルの一例を紹介

- インターネットなどの時間が長くなり、学習や読書の時間が減ってしまう。
- いつもスマートフォンを見ていないと落ち着かなくなる。
- メールやブログ、ゲームが気になって仕方がない。
- 書き込みやメールでの誹謗中傷やいじめにあう。
- インターネットを介した事件・トラブルに巻き込まれてしまう。
- 意図せずインターネット上で配信した個人的な情報が流出してしまう。
- 無料ゲームサイトで意図しない有料サービスへ誘導されてしまう。
- 歩きながらや自転車に乗りながらスマートフォンを操作することにより、交通事故に遭う危険性が高まる。



保護者としてはとても心配、何かできないだろうか…

子どもたちのために、まずできること

①子どもと一緒に「家庭のルール」をつくる

ルールづくりは保護者の一方的な押しつけではなく、子どもと一緒にルールを決めることが大事です。そして、そのルールは、成長とともに少しずつ改定していく必要があります。

家庭のルールの具体例

- ・名前や顔写真、学校名などはインターネット上に書き込まない。
- ・友達にメールやメッセージのやり取りを強要しない。
- ・利用する場所や時間を決める。
(食事中は使わない、ほかの人といるときは使わないなども効果的)
- ・パスワードは保護者が管理する。
- ・トラブルの時はすぐに保護者に相談する。
- ・通知機能をオフにする。
(スマートフォンをすぐ見てしまう状況を解消するのに効果的)



イラスト：政府広報オンライン

②有害情報へのアクセスを制限する「フィルタリング」を活用する

スマートフォンなどを利用する際は、有害情報へのアクセスを制限するフィルタリングを活用しましょう。出会い系サイトやアダルトサイト、暴力的な表現のあるサイトなどを、子どもが閲覧できないようにします。

携帯電話会社では、18歳未満の子どもがスマートフォンなどを利用する場合に、フィルタリングサービスの利用を呼び掛けている。購入の際に、子どもが使うことを販売店に伝え、フィルタリングを利用してください。



イラスト：政府広報オンライン



地域や学校ではこんな取り組みも！

●放課後子ども教室

市内すべての小学校区で、小学生を対象に、地域の人が主体となって放課後の学校などを使い、さまざまな学びや体験活動を行っています。放課後子ども教室を通じて、子どもと地域をつなぎ、子どもの地域での心のよりどころを作り、子どもが地域社会の中で健やかに育まれる環境づくりを進めています。

●学校で取り組むプロジェクト

基本的な生活習慣の確立と学習時間の確保を目的に、小・中学生も、学校や保護者などの協力を受けて、取り組みを進めています。

▷「携帯を預けるDAY」(亀山中学校)

毎週水曜日に、スマートフォンなどを使わないように、保護者に預ける日として設定し、生徒会が主体となり保護者に働きかけています。

▷「スマートフォンやゲーム時間を減らそうプロジェクト」(中部中学校)

家庭での学習時間や、集中できる時間を増やすため、テスト期間中に、スマートフォンやゲームなどを夜9時以降使用しない取り組みを始めました。そして、その結果を担任の先生へ報告しています。



亀山市の将来を担う子どもたちのために

インターネットやスマートフォンに関する問題は、子ども自身や家庭のみならず、子どもたちを取り巻く地域、学校が一体となって取り組まなければなりません。

亀山市には、子どもたちが将来一人の人間として生きていくための「チカラ」を身に付けてほしいと願って、市民の方々が話し合って採択された「『亀山っ子』市民宣言」があります。

この願いの実現に向けて、学校でもサポートに取り組むとともに、家庭や地域においても、子どもたちの健全な成長を応援する環境づくりにご協力をお願いします。

